

事後評価調書

I 事業概要					
事業名	道路事業				
地区名	一般県道東大見岡崎線 <small>（一色大柳工区）</small> <small>ひがしおおみ おかざき いっしきおおやなぎ</small>				
事業箇所	岡崎市切山町地内 <small>きりやまちょう</small>				
事業のあらまし	<p>一般県道東大見岡崎線は、岡崎市北部と豊田市山間部を結ぶ地域の暮らしを支える重要な路線であり、岡崎市旧額田町と豊田市境で開発が進められているトヨタテクニカルセンター下山へのアクセス道路としての機能を担う路線である。</p> <p>当該事業区間は、1車線の幅員狭隘な道路であり、車のすれ違いも困難な状況となっている。また、トヨタテクニカルセンター下山への利便性向上に向けて早期整備が強く望まれる路線である。</p> <p>このため、自動車すれ違い困難区間における自動車の安全性・走行性向上を主な目的として、一般県道東大見岡崎線の現道の拡幅整備を行うものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>①山間・離島対策（自動車すれ違い困難区間における自動車の安全性・走行性向上）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
事業費	事業費		内訳		
	9.3億円		■工事費 7.7億円、■用補費 0.5億円、■その他 1.1億円		
事業期間	採択年度	2010年度	着工年度	2010年度	完成年度 2019年度
事業内容	現道拡幅（延長 L=1.3km、車線数 2車線、幅員 W=7.5m）				
II 評価					
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>①山間・離島対策（自動車すれ違い困難区間における自動車の安全性・走行性向上）</p> <p>・本事業区間の整備により、自動車すれ違い困難区間における自動車の安全性・走行性向上が図られた。</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>本事業により、自動車の安全性・走行性向上が図られたため、事業目標は達成している。</p>			
	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>—</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>—</p>			
III 対応方針					
今後の事後評価の必要性	・事業目標に対して目的を達成しており、今後の事後評価の必要性はない。				
改善措置の必要性	・事業目標に対する効果が十分に発現しており、新たな課題も見られないため、改善措置の必要性はない。				
同種事業に反映すべき事項	・標準的な事業計画、事業プロセス、工法で施工されているため、同種事業に反映すべき事項は特にない。				